

大山恵みの
里だより
vol. 6

新たな販路開拓に向けて

商談会

(財) 大山恵みの里公社では4月15日から18日にかけて、岡山(俳)天満屋、九州の俳(西)鉄ストアおよび俳(ハ)ローディとそれぞれ商談会を行いました。

天満屋との商談では有機栽培野菜の農地や御来屋漁港へ行き、実際に商品が採れる現場を見学しました。また、西鉄ストアとの商談では陣構番茶のパッケージが大きくて良い、板わかめは迫力があって面白いと評判でした。いずれの商談も今後の取引に向けて前向きに検討するという返事をもらいました。

公社では今後もこのような商談会を開催する予定です。商談

がまとまらなくても、売れる商品にしていくためのアドバイスがいただける利点がありますので町内の事業者の皆さまもぜひ積極的にご参加ください。

ひろしま フラワー フェスティ バルに出店

ゴールデンウィークの5月3日から5日まで、公社と大山振

興課、大山町そば打ち同好会で「ひろしまフラワーフェスティバル」に出店しました。今回は広島の人に「大山」を知ってもらおうこと、「大山」がおいしいものの宝庫であることをPRすることを目的に、手打ちの大山そば、大山ブルーベリージャム、香取村飲むヨーグルト、陣構のお茶、板わかめなどを販売しました。3日間で166万人の人出があり、連日大山町ブースも大にぎわいで、商品によっては2日間で売切れてしまうほどの盛況ぶりでした。



連日大にぎわいだった大山町ブース

多くのお客さんは「大山」のことをご存知で、「大山は自然がいいよね」とか「大山のものはおいしいよね」という声をたくさんいただきました。広島は予想以上に「大山」の認知度も高く強い手応えを感じました。

米子市内スーパーに 町産品コーナー開設



ずらりと並んだ町内産の野菜や花、加工品の数々

5月12日(月)からホープタウン(米子市米原)に大山町産品コーナーを開設しました。初日の12日、出品農家はどれくらい売れるのか分からないという不安を抱きながらも旬の春キャベツ、大根、玉ねぎ、アスパラなど様々な町内産野菜とそれらを使った加工品などを並べました。お客さんからは「地元

のものが買えるようになってうれしい」「毎日どんなものが出てくるか楽しみだ」と評判でした。出品した物が夕方にはほとんど売り切れになる状態でした。公社では引き続き出品者の登録をお待ちしています。気軽にお問い合わせください。

※問い合わせ先

(財) 大山恵みの里公社
TEL 0859-39-5016
FAX 0859-53-3163

役場大山振興課
TEL 0859-53-3313
FAX 0859-53-3163